

▶▶ 10 買い換え(交換)のめやす

ヒットエアを何のトラブルもなく正常に使用された場合でも、以下の様な状態が発生した場合は、新しく買い換えるか取扱店にご相談下さい。

1. 生地部分がこすれたり、ほつれたりしてきた場合。
又、それによって内部気室(ポリウレタンフィルム/白色)が見えてきた場合。
2. キーボックス部分やカートリッジボンベにヒビ、サビが発生した場合。
3. 伸縮ワイヤー、ワイヤーループが擦れなどによって、ほつれが出た場合。
4. 各素材が著しく変色、変化が生じた場合。

▶▶ 11 アフターサービスについて

〈修理を依頼される場合〉

- お買い上げの取扱店まで保証書を添えて、商品をご持参下さい。
修理により商品の機能が維持できる場合に、ご希望により有料で修理させていただきます。
取扱店にお依頼にならない場合には、直接、当方へお問い合わせ下さい。

〈メンテナンスチェックをご希望の場合〉

- メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらずとも、その中に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確認する作業です。
- ヒットエア一付ジャケットが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。

お問い合わせ先：無限電光株式会社
TEL: 052-807-7750 E-mail: mugen@hit-air.com

27

9

- 注意 14. キーホルダーに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常(ほつれ、さび、擦れ、切れ等)が確認された場合には、部品交換して下さい。
- 注意 13. レットエア・エフ1バックライク一体型は、洗濯、クリーニングはできません。
- 注意 12. 鞍に取付ける伸縮ワイヤーが正常に取付けてあるか、各自エチケットして下さい。
不完全な場合は正常な動作をしない場合があります。
- 注意 11. レットエア一付ジャケットに、針を選んだり、エッジ等の縫付けやアロンの使用はおやめ下さい。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。エッジ等の取付可能な位置は取扱店にお尋ね下さい。
- 注意 10. 保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊り上げて保管して下さい。又、持ち運びや移動する際も同様です。
保管場所は、高温多湿の場所は避けて下さい。
- 注意 9. レットエア一付ジャケットが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。

注意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

▶ はじめに ヒットエアに装備されたアクセサリ

再生作業に必要な工具(付属品)
セッティングボルト(Y型用)
六角レンチ

ウェア側

CO² カートリッジボンベ (P14参照)
キーボックスが作動するとボンベからCO²ガスがエアバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。

キーボックス(Y型) (P12参照)
YKKと共同開発した小型軽量型キーボックス

キーボール(Y型) (P13参照)
キーボールが抜けるとエアバッグが作動します。
キーリングはキーボールをキーボックスに固定するパーツです。

ワンタッチリリース(コネクター) (P15参照)
乗馬の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接合して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)

ワンタッチチューブ
ワンタッチコネクター・メス部
ワンタッチコネクター・オス部
キャップ
2cm以上残す
調節後硬く結ぶ

ワンタッチリリース(コネクター) (P15参照)
乗馬の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接合して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)
馬にまたがった状態でワンタッチコネクターを接合して下さい

ループセッター (P16参照)
伸縮ワイヤーを鞍に取付ける際に固定するネジ
伸縮ワイヤーを鞍に取付け、長さ調節をした後でループセッター下部の溝にワイヤーを固定し、蝶ネジを締めます。

伸縮ワイヤー (P16参照)
強度に優れたケブラー糸を使用したワイヤーにウレタン樹脂で表面をコーティングしています。

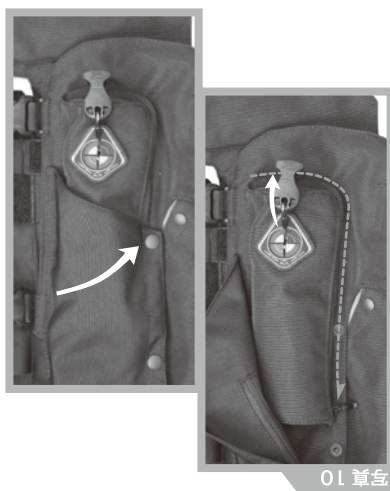
伸縮ワイヤーの接続は鞍に付いているサドルホルダーの中央部に伸縮ワイヤーを固定します。
(当社製品サドルストラップへの取付けも可能。)

サドルホルダー 又は、サドルストラップ

ワンタッチリリース(コネクター) (P15参照)
乗馬の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接合して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)

4

25



10. 再生作業は完了です(写真10)
ワンタッチコネクター・メス部をキーボックスのカーブを開き、キーボックスのカーブを閉じて下さい。



9. 未使用のカーブを再生作業
カーブを再生作業の際に完全に膨らませるため、キーボックスのカーブを完全に膨らませ、キーボックスのカーブを閉じて下さい。

注意
キーボックスのカーブを再生作業の際に完全に膨らませるため、キーボックスのカーブを完全に膨らませ、キーボックスのカーブを閉じて下さい。
膨らませるキーボックスのカーブを再生作業の際に完全に膨らませるため、キーボックスのカーブを完全に膨らませ、キーボックスのカーブを閉じて下さい。

7-2 キーボックスの再生作業